



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL <http://corp.allabout.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,312	48.9	239	931.4	240	-	225	129.9
29年3月期第1四半期	2,224	19.5	23	△75.0	17	△79.7	98	21.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 227百万円 (182.8%) 29年3月期第1四半期 80百万円 (△6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	16.70	16.27
29年3月期第1四半期	7.27	7.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	5,809	4,483	71.9	308.85
29年3月期	5,045	3,659	72.3	269.68

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,175百万円 29年3月期 3,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	3.00	3.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,400	40.8	270	533.2	260	702.3	230	—	17.01
通期	13,600	31.1	600	7.9	580	7.6	450	93.8	33.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成29年8月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	13,533,700株	29年3月期	13,533,700株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	13,658株	29年3月期	13,613株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	13,520,051株	29年3月期1Q	13,520,134株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費の回復は足踏み状態が続いております。また、海外の政治・経済動向などの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状態で推移しております。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「C to C」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアル両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,312百万円(前年同四半期比48.9%増)、営業利益は239百万円(前年同四半期比931.4%増)、経常利益は240百万円(前年同四半期比1295.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円(前年同四半期比129.9%増)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、ネットワーク広告を中心に広告売上が堅調に推移しました。また、分散型メディアプラットフォーム「c i t r u s」における広告出稿が増加しました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は864百万円(前年同四半期比19.8%増)、セグメント利益は170百万円(前年同四半期比68.9%増)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、「サンプル百貨店」におけるサンプル商品の拡充と会員数の増加に注力し、主力の有償サンプリングサービス「ちよっぷル」が堅調に推移しております。また、前期に実施しておりましたTVCMの終了により、広告宣伝費が減少しております。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は2,460百万円(前年同四半期比62.3%増)、セグメント利益は149百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ674百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が728百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が42百万円、繰延税金資産が27百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。これは主にソフトウェアが53百万円、差入保証金が58百万円増加した一方、ソフトウェア仮勘定が35百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,243百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円減少いたしました。これは主に預り金が31百万円増加した一方、未払法人税等が41百万円、未払消費税等が44百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は81百万円となり、前連結会計年度末とほぼ同額となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ824百万円増加いたしました。これは主に連結子会社である株式会社オールアバウトナビの株式の一部譲渡及び同連結子会社による日本テレビ放送網株式会社を引受人とする第三者割当増資により資本剰余金が344百万円、非支配株主持分が294百万円増加したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益を225百万円計上したこと及び40百万円の配当実施により、利益剰余金が185百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、マーケティングソリューションセグメント、コンシューマサービスセグメントいずれも業績が堅調に推移していることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,245,240	2,973,667
受取手形及び売掛金	1,300,987	1,258,264
商品及び製品	384,086	375,285
未成制作費	2,035	4,529
未収還付法人税等	3,781	41,661
前払費用	30,826	43,316
繰延税金資産	80,370	52,773
その他	43,476	16,645
貸倒引当金	△4,913	△5,505
流動資産合計	4,085,891	4,760,639
固定資産		
有形固定資産		
建物	108,799	121,878
減価償却累計額	△46,125	△62,198
建物(純額)	62,673	59,680
工具、器具及び備品	147,139	152,233
減価償却累計額	△108,233	△111,573
工具、器具及び備品(純額)	38,906	40,660
有形固定資産合計	101,580	100,340
無形固定資産		
のれん	240,812	236,703
ソフトウェア	289,614	343,083
ソフトウェア仮勘定	69,795	34,660
その他	522	522
無形固定資産合計	600,745	614,970
投資その他の資産		
投資有価証券	57,758	57,903
破産更生債権等	11,148	13,007
長期貸付金	8,000	8,000
差入保証金	134,208	193,043
繰延税金資産	31,326	46,527
その他	26,399	26,418
貸倒引当金	△11,148	△11,642
投資その他の資産合計	257,692	333,257
固定資産合計	960,017	1,048,569
資産合計	5,045,909	5,809,208

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	736,508	735,515
短期借入金	—	1,444
未払金	864	313
未払費用	248,371	249,317
未払法人税等	127,110	85,598
未払消費税等	79,655	35,272
前受金	35,693	26,515
預り金	29,853	61,526
賞与引当金	9,710	6,190
その他	39,893	41,938
流動負債合計	1,307,658	1,243,632
固定負債		
長期借入金	21,262	20,179
退職給付に係る負債	30,750	31,608
資産除去債務	27,000	27,000
その他	—	3,121
固定負債合計	79,012	81,909
負債合計	1,386,671	1,325,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,222	1,199,222
資本剰余金	1,854,252	2,198,537
利益剰余金	596,871	782,136
自己株式	△4,243	△4,278
株主資本合計	3,646,103	4,175,618
新株予約権	676	641
非支配株主持分	12,457	307,406
純資産合計	3,659,237	4,483,666
負債純資産合計	5,045,909	5,809,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,224,434	3,312,305
売上原価	902,281	1,549,403
売上総利益	1,322,152	1,762,902
販売費及び一般管理費	1,298,967	1,523,762
営業利益	23,185	239,139
営業外収益		
受取利息	403	81
受取配当金	500	500
為替差益	—	152
その他	1,294	790
営業外収益合計	2,197	1,524
営業外費用		
支払利息	31	—
為替差損	1,116	—
持分法による投資損失	6,701	—
その他	297	203
営業外費用合計	8,147	203
経常利益	17,235	240,460
特別利益		
固定資産売却益	—	1,000
関係会社株式売却益	—	13,530
新株予約権戻入益	—	35
特別利益合計	—	14,565
特別損失		
固定資産除却損	3,769	—
特別損失合計	3,769	—
税金等調整前四半期純利益	13,466	255,025
法人税、住民税及び事業税	18,782	3,236
法人税等調整額	△85,885	23,923
法人税等合計	△67,103	27,160
四半期純利益	80,570	227,865
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,659	2,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,229	225,824

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	80,570	227,865
四半期包括利益	80,570	227,865
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,229	225,824
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,659	2,040

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月1日付で連結子会社である株式会社オールアバウトナビの株式の一部譲渡を行いました。また、同連結子会社は平成29年6月1日付で第三者割当増資による募集株式の発行を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が344,285千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,198,537千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	711,116	1,513,317	2,224,434	-	2,224,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,484	2,437	12,922	△12,922	-
計	721,600	1,515,755	2,237,356	△12,922	2,224,434
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	100,944	△678	100,265	△77,080	23,185

(注) 1. セグメント利益の調整額△77,080千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,080千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	851,865	2,460,439	3,312,305	-	3,312,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,262	-	12,262	△12,262	-
計	864,128	2,460,439	3,324,568	△12,262	3,312,305
セグメント利益	170,483	149,547	320,031	△80,891	239,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△80,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△80,891千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。